

## 6月の夜空



東 南 2026年 6月15日 午後 8時30分 西

6月 8日19時01分：下弦 ◯	6月17日	：月 水星 木星 金星 会合
6月 9日21時30分：金星 木星 会合	6月21日17時25分：夏至	
6月15日11時54分：新月 ●	6月22日06時55分：上弦 ◯	
6月16日05時00分：水星 東方最大離角	6月30日08時57分：満月 ○	



  
 きらら  
 室根山天文台

### きらら室根山天文台

- ★ 住 所 〒029-1201 岩手県一関市室根町折壁字室根山1-146 TEL/FAX 0191-64-3700
  - ★ 休 館 日 火・水曜日 夜間開館 金・土・日曜日 及び 祝祭日当日 と その前日
  - ★ 開館時間【昼の部】13:00～17:00(4月～8月) 13:00～16:30(9月～11月) 【夜の部】19:30～21:30(4月～8月) 19:00～21:30(9月～11月)
  - ★ 入 館 料 大人330円 小・中学生160円 団体(20名様以上) 大人270円 小・中学生130円
  - ☆ 学校の親子行事や子ども会など団体でのご利用の場合は、休館日でもお受けすることがあります。
- 詳しくは、一関市役所室根支所産業建設課(0191-64-3806)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

## 梅 雨

室根山周辺の梅雨時期は、おおよそ、6月中旬から7月下旬になります。とはいえ、かつてのような、梅雨入りすると、長時間の少雨で肌寒く湿った状態が続き、梅雨が明けると、強い日差しで暑くなり、夕方、短時間の雷雨の日々を気温が下がるまで繰り返すという分り易い体感がなくなりました。梅雨前線の有無の影響より、大気が平均気温の上昇により海上から蒸発した水蒸気を多く含んで湧き出す雲の量の方が影響が大きく、その雲が室根山上空に押し寄せるかどうか体感を左右している昨今です。明らかに梅雨時期に関わらず曇天が増えてしまっているの、あまり前線や気圧という言葉に踊らされずに、現実の貴重な晴天を有意義に活用しましょう。

### 昼の部 主な観望対象天体

惑星は、金星、木星、水星、火星が、対象位置にあります。恒星は、レグルス、シリウス、プロキオン。視認の可、不可は別として、カノープスも南中で観望対象位置です。太陽は5月の時点で、まだまだ、活発な姿という印象でした。

### 夜の部 主な観望対象天体

惑星が上空に存在しないタイミングです。昼の部で対象だった金星、木星、水星が、日没後の薄明の中で輝きだし並んで沈む状態ではあるので、天文台を利用することなく、肉眼や写真で、地上の風景との共演を楽しむことができます。天文台では、6月15日が新月なので、6月3日までは満月直後の月が早々に昇りますが、それらを除いて、6月の前半は月明かりの影響を受けずに、星団、星雲、銀河などを楽しみ、6月の後半になると、特に6月18日の三日月以降は月明かりの影響を受けてしまうので、月面そのものが観望対象の中心になります。また、6月と聞くと晴天率の悪さを思い浮かべますが、星に興味を持つと、日没後の薄明が午後9時前まで残り、午前3時前には日の出の薄明が始まることに気づき、夜の短さにも驚かされます。

## きらら室根山天文台

- ★ 住 所 〒029-1201 岩手県一関市室根町折壁字室根山1-146 TEL/FAX 0191-64-3700
- ★ 休 館 日 火・水曜日 夜間開館 金・土・日曜日 及び 祝祭日当日
- ★ 開館時間 【昼の部】13:00～17:00(4月～8月) 13:00～16:30(9月～11月) 【夜の部】19:30～21:30(4月～8月) 19:00～21:30(9月～11月)
- ★ 入 館 料 大人330円 小・中学生160円 団体(20名様以上) 大人270円 小・中学生130円
- ☆ 学校の親子行事や子ども会など団体でのご利用の場合は、休館日でもお受けすることがあります。

詳しくは、一関市役所室根支所産業建設課(0191-64-3806)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。